

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1518), 課コード (0603), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1519), 課コード (0603), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with status indicators like '現状どおり推進'.

Final evaluation table with columns for '評価' (Evaluation) and '改善策及び展開方向' (Improvement and expansion directions).

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1869), 課コード (0603), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価 and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2013), 課コード (0603), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2062	課コード	0603	会計種別	公共下水道事業特別会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	-------------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・下水道課						
	③事業主体	個別事業 青山地区の流域下水道への接続事業	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	平成27年度～平成30年度		⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.75人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	175,200千円		当該(開始)年度	(当初)	126,275千円 (うち人件費 6,675千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 五か年整備計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレシステムの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	青山地区他の公共下水道を手賀沼北部第2幹線へ流入し、現在、稼働している青山汚水中継ポンプ場を廃止する。							
(3) 事業内容	内容	青山汚水中継ポンプ場は、供用開始後20年以上経過し各種機械設備の老朽化が進んでいるため、手賀沼北部第2幹線へ切替を行う必要がある。そのための切替工事を行う。			当該年度執行計画	補助金申請 7月 切替工事発注 9月							
		当該年度活動結果指標	流域接続のための切替工事 (推進・φ700)L=10m		単位	m	想定値	10					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該(開始)年度	千葉県下水道課と県施工の接続点704整備の協議を進め、切替工事を行う				直接	・千葉県下水道課との協議に基づく切替工事		m	0	10			
3年後	下水道接続工事により青山汚水中継ポンプ場を廃止する。				直接	・下水道接続に伴う閉塞工事		m	0	1,660			
最終(概ね5年後)					直接				0	0			
(7) 事業実施上の課題と対応	千葉県が実施する接続点704整備により、当該事業の工程が大きく左右されるため、県との協議調整を密に行う必要がある。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		* 青山ポンプ場切替実施設計委託 (補助)	20,262	* 青山汚水中継ポンプ場切替工事 (補助)	100,000	* 舗装復旧工事 (補助事業分)	1,000	* 圧送管閉塞工事	36,000				
		* 付帯工事	2,000	* 付帯工事	10,000	* 圧送管閉塞実施設計	4,600						
						* 附帯工事	1,000						
予算(済)額	合計		22,262	合計		119,600	合計		6,600	合計	36,000		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	10,131	補助率	50%	50,000	補助率	50%	500	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	45%	9,100	充当率	100%	45,000	充当率	100%	450	充当率	0%	0
	一般財源			0			0			0			0
その他の財源	■特会 ■受益 □債務 □基金 ■その他		3,031	■特会 ■受益 □債務 □基金 □その他		24,600	■特会 ■受益 □債務 □基金 □その他		5,650	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他		36,000	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.25		0.75		0.25		0.25					
	正職員人件費	2,275		6,675		2,225		2,225					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	24,537		126,275		8,825		38,225						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	490.74千円/㎡		12,627.5千円/㎡										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	青山汚水中継ポンプ場は供用開始20年以上経過し、各機械設備の老朽化が進み、トラブルが発生しているため、手賀沼北部第2幹線へ天王台駅北口地区の公共下水道を流入し、青山汚水中継ポンプ場を廃止することが急務である。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当なし						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input checked="" type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>		自然流下によりポンプ場を廃止し、エネルギーの削減を図る				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(m)	目標値(b)(m)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	0	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(m)	達成率(%) (f/b×100)			○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要
	126,275	△101,738			<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況				○要 ○不要
	0.01	m	費用単位	10万円	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			○要 ○不要

3. 事後評価									
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2176	課コード	0603	会計種別	公共下水道事業特別会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	-------------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 下水道事業の健全経営の確保	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・下水道課					
	③事業主体	個別事業 地方公営企業法適用化事業	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 平成31年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.35人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	7,542千円 (うち人件費 3,115千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。			事業目的	経営成績や財政状態など自らの経営状況のより的確な把握が可能となるように地方公営企業法を適用し、公営企業会計へ移行する。						
(3) 事業内容	内容	地方公営企業法適用化基本計画を策定し、その後、基本計画に基づき地方公営企業法適用化移行業務を行う。			当該年度執行計画	地方公営企業法適用化基本計画の策定を行う。 ・4月～6月 契約 ・10月～11月 中間報告 ・2月～3月 基本計画書の完成						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	冊	想定値	1	
当該(開始)年度	地方公営企業法適用化基本計画を策定し、計画書を作成する。	直接	地方公営企業法適用化基本計画書の作成。		%	0				(5) 現況値	100	
3年後	地方公営企業法適用移行業務の作業中となる。	直接	地方公営企業法適用移行業務の作業の進捗状況。		%	0				(6) 目標値	50	
最終(概ね5年後)	地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行する。	直接	公営企業会計への移行終了。		%	0				(7) 事業実施上の課題と対応	公営企業会計の適用に要する経費に係る財政措置がある平成27年度から平成31年度までに地方公営企業法適用化の移行業務を終了させる。	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)													
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討				
	今後、施設の老朽化、人口減少による使用料収入の減少等、下水道事業をめぐる経営環境が厳しさを増していく中で、自らの経営状況を正確に把握した上で経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む必要がある。そのためには、経営成績や財政状態など自らの経営状況のより的確な把握が可能となるように地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行することが必要となる。また、公営企業会計の適用拡大に係る集中取組期間が平成27年度から平成31年度となっており、地方債を発行することができ、地方債の元利償還金については普通交付税措置がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要				
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要		
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容>												
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 事業の性質上、市民参加や市民との協働には適さない。								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 事業の性質上、該当なし。								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)		(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過				
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100		<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		対目標値(%)		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>				
	1.33	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)		(h/e)×100		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (2179), 課コード (0603), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for budget, personnel, and performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).